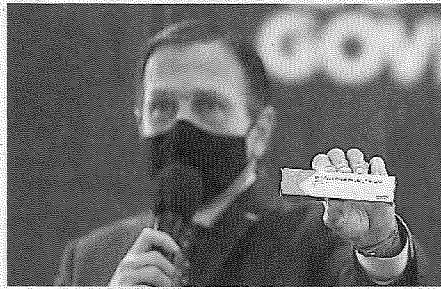


ブラジル ワクチン巡り政争



7月、シノバック社のワクチンを手に会見するサンパウロ州のドリリア知事



7日、イベントで話すブラジルのボルソナロー大統領＝いずれもロイター

ドリリア氏

新型コロナウイルスの感染者が520万人を超えたブラジルで、ワクチンをめぐり政治対立が表面化している。2年後の選挙での対決が予想されるボルソナロー大統領とサンパウロ州のドリリア知事が、それぞれ異なるワクチンを推薦。コロナ禍克服の切り札と期待されるワクチンが、政争の具になる危うさも見え隠れする。

(サンパウロ＝岡田玄)

ボルソナロー氏

大統領再選狙い一転「安全性」

「サンパウロはワクチン接種を義務化するだろう」
ドリリア氏は16日の記者会見でこう述べた。念頭にあるのは中国のバイオ企業シノバック社のワクチンだ。
ドリリア氏は9月、シノバック社からワクチン4600万回分の提供を受ける契約を結んだと発表。契約額は9千万ドル(約95億円)で、このほど連邦政府への承認申請手続きも始めた。12月にも接種を始めたとしている。

2022年大統領選の有力候補と目されるドリリア氏は、ブラジルで感染が拡大し始めた3月、外出自粛などの規制を断行。経済活動を優先させるボルソナロー氏を「ブラジルは新型コロナウイルスとボルソナローという二つのウイルスと闘っている」と批判した。

ワクチンの早期導入を目指す背景には、世論の変化がある。当初、ドリリア氏の対応は市民に支持されたが、自粛期間が長引くにつれ「経済を冷やだませている」と不評を買った。いち早くワクチンを買保し、批判を払拭したいとの思惑が透ける。

一方、ボルソナロー氏は、「科学的に証拠のないワクチンに無責任ではいられない。米国や日本のような国が作ったものでも政府の承認が必要だ」と、安全性を重視する姿勢を示す。

再選を目指すボルソナロー氏の支持率は新型コロナウイルスの感染拡大で下がったが、失業者らへの現金給付などで再び上昇。英国のオックスフォード大とアストラゼネカ社のワクチン1億回分にあたる19億ドル(約350億円)の予算を確保する大統領令に署名し、承認申請手続きも始めた。

これまで安全性に疑問のある抗マラリア薬を新型コロナウイルス患者に投与するよう主張してきたボルソナロー氏がワクチン「多くのうそをついてきた彼の言うことを信頼できるだろうか」と批判している。

早期導入へ 中国企業と契約

| | 感染者 | 死者 |
|--------|-------------------------|---------------------|
| 米国 | 810万6752 | 21万9289 |
| インド | 749万4551 | 11万4031 |
| ブラジル | 522万4362 | 15万3675 |
| ロシア | 137万6020 | 2万3857 |
| アルゼンチン | 97万9119 | 2万6107 |
| コロンビア | 95万2371 | 2万8803 |
| スペイン | 93万6560 | 3万3775 |
| フランス | 87万6342 | 3万3325 |
| ペルー | 86万2417 | 3万3648 |
| メキシコ | 84万7108 | 8万6059 |
| インドネシア | 35万7762 | 1万2431 |
| フィリピン | 35万4338 | 6603 |
| 中国 | 9万0955 | 4739 |
| シンガポール | 5万7904 | 28 |
| 韓国 | 2万5199 | 444 |
| 日本 | 9万2843 | 1670 |
| 世界計 | 3968万1253 (+34万1291) | 110万9992 (+5477) |

■世界の新型コロナウイルス感染者(18日午後6時現在)

感染者の多い10カ国と、日本と往来の多い国。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から。カッコ内は前日比。日本の数字は集計方法が異なるため、1面・社会面と一致しない